

第3章 第1次推進計画の評価と課題

1 歯と口腔の健康づくりに関する取組状況

第1次推進計画では、「フロンティア戦略2013」策定時に設定した9つの指標を達成するため、次のような施策を重点的に取り組んできました。

- むし歯や歯周病予防に関する出前講座や、各種健康関連イベント等で歯科保健指導を実施し、歯科口腔保健に関する正しい知識の普及啓発に取り組みました。
- 「事業所における歯周病検診」や、「歯と口の健康週間」（毎年6月4日から10日まで）に合わせた歯科検診を実施し、定期的に歯科検診を受けることを推進しました。
- 障害者施設等で歯科検診や歯科保健指導を行い、定期的に歯科検診や歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健を推進しました。
- 「歯科保健指導マニュアル」の作成や関係者に対する研修会を実施し、歯と口腔の健康づくりを推進するために必要な社会環境の整備に努めました。
- 歯科医師会や歯科衛生士会等の関係機関や市町、職場、学校等が連携し、歯と口腔の健康の保持・増進を図るための取組を推進しました。

2 目標達成状況の評価

目標達成状況の評価するため、県民健康・栄養調査等の結果を分析し、ベースライン値との比較や評価を行いました。

第1次推進計画における具体的指標9項目のうち、目標を達成したもの（A評価）が4項目、目標に達していないが順調に改善したもの（B評価）が1項目、やや改善したもの（C評価）が1項目、横ばい・悪化したもの（D評価）が3項目であり、6項目に改善が認められました（表1）。

表 1 第 1 次推進計画における目標達成状況

評価区分	基準	数
A 目標達成	目標値を達成	4
B 順調に改善	目標値との差の 50%以上の改善	1
C やや改善	目標値との差の 50%未満の改善	1
D 横ばい・悪化	横ばい、または策定時より悪化	3
目標達成又は改善 (A+B+C/計)		6/9

3 各指標の達成状況

各指標のうち、目標値を達成したものは、「妊婦歯科健診実施市町数」、「3 歳児健康診査時のう蝕罹患率」、「学齢期の一人平均う歯数（12 歳児・永久歯）」、「過去 1 年間に歯科検診を受診した人の割合」の 4 つでした（表 2）。

一方、「進行した歯周炎を有する人の割合」が 40 歳・50 歳ともに悪化したことや、6024（60 歳で 24 本以上自分の歯を持つ人）・8020（80 歳で 20 本以上自分の歯を持つ人）達成者の伸び率がわずかであったことから、歯周病の罹患状況や歯の喪失状況に大きな改善が認められなかったことが明らかになりました。

歯周病の罹患状況が悪化した要因の一つとして、厚生労働省が策定している「歯周病検診マニュアル」が平成 27 年度に改定され、評価法に変化があったことが影響している可能性があるため、今後の罹患状況の推移を観察していく必要があります。

3 歳児健康診査時の不正咬合割合は悪化しましたが、不正咬合の骨格的要因には遺伝が影響し、骨格的要因を予防することはできないため、乳幼児期から不正咬合の有病者は一定の割合で存在すること等が影響していると思われます。

4 今後の課題

子どものむし歯の減少や歯科検診受診者の増加などの改善が認められましたが、働く世代の歯周病罹患率は増加しており、6024 達成者、8020 達成者の割合は、全国より低い現状があります。

6024・8020 達成者の伸び率が低い原因として、中高年での歯の喪失状況が改善されていないことが考えられます。成人の歯の喪失の最大の原因は歯周病であることから、働く世代に対する歯周病予防策を一層推進し、歯の喪失を少なくすることが喫緊の課題となっています。

また、国が定めた「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を参考に、県民健康・栄養調査等の結果から、新たな指標及び目標値の設定を行い、ライフステージに応じた切れ目のない施策の展開を目指します。

表 2 第 1 次推進計画における各指標の達成状況

目標項目	ベース ライン値 (H23)	現状値 (H28)	目標値 (H29)	評価	データソース	
妊婦歯科健診実施市町数	9 市町	16 市町 (H29)	増加	A	健康推進課調べ	
3 歳児健康診査時のう蝕罹患率	20.5%	13.5%	20%以下	A	3 歳児歯科健康診査	
3 歳児健康診査時の不正咬合割合	12.0%	13.3%	10%以下	D		
学齢期の一人平均う歯数 (12 歳児・永久歯)	1.7 歯	1.0 歯 (H29)	1.0 歯以下	A	学校保健統計調査	
進行した歯周炎を（4 mm 以上の歯周ポケット）を 有する人の割合	40 歳 (35～44 歳)	29.7%	55.3%	26%以下	D	事業所及び市町 歯周病検診結果
	50 歳 (45～54 歳)	38.5%	63.4%	34%以下	D	
60 歳で 24 歯以上 自分の歯が残っている人の割合	48.8%	51.6%	54%以上	B	県民健康・栄養調査	
80 歳で 20 歯以上 自分の歯が残っている人の割合	24.8%	26.1%	28%以上	C		
過去 1 年間に歯科検診を 受診した者の割合（全年齢）	42.9%	48.2%	47%以上	A		

